

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	健康課長 栗田 和也	
		主管課(関係課)【2】	健康課	
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】	
笑2-1 健康づくりの推進		いつまでも健康で元気に暮らすために	笑顔で暮らすまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	健康維持の観点から、健康づくりに対する関心が高まっています。一方で医療費の増大は大きな問題となっており、健康寿命の延伸のための生活習慣病を含む病気の予防の対策が求められています。今後は、市民自身が行う健康づくりの支援を強化・充実するとともに、生活習慣病や食育に関する情報提供、医療及び医療機関の情報提供、健康相談、健康教育、各種スポーツ教室などを行う必要があります。また、住み慣れた地域で暮らし続けるための地域医療体制の整備や充実、健康づくり活動を行う団体などとの連携、ワクチン接種・がん検診受診率を向上させる対策などに取り組む必要があります。		◆市民の自主的な健康づくりの支援 ◆生活習慣病などへの対応を含めた健康診査、健康相談・教育の充実 ◆地域医療体制の整備・充実	だれもが健康に生活できるように、乳幼児期から高齢期まで、それぞれのライフステージに応じた、こころとかからだの健康づくりを支援します。
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
◇介護受けずに日常生活を支障なく送れる期間(健康寿命)は、平成25年は男性71.19歳、女性74.21歳となり、平成22年と比較し、それぞれ、0.77歳、0.59歳伸びています(参考 平成25年平均寿命 男性80.21歳 女性86.61歳)。 ◇平成25年にがんで亡くなった人は、36万4,872人(前年比3,909人増)、死亡総数に占める割合は28.8%となり、3.5人に1人はがんで亡くなる計算となります(厚生労働省人口動態統計 平成25年)。 ◇平成27年6月に、南部地域において210床の総合病院が開業しました。				
事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】		
1	市民の主体的な健康づくりを支援します	市民の自主的な健康づくりの支援		
2	地域医療体制の整備・充実を図ります	地域医療体制の整備・充実		
3	健康都市を推進します	生活習慣病などへの対応を含めた健康診査、健康相談・教育の充実		

【施策の成果】

				年度	24	25	26	27	28	29
成果指標【12】	指標1	名称	「健康づくりの推進」に対する満足度	目標値	30%			単位	%	
		算出式・説明	市民が健康に暮らしていけるように、市が行っている「健康づくりの推進」の取組に対する評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。	実績値	25.1	25.1	25.1	24.6		
		達成率		84%	84%	84%	82%			
	指標2	名称	「地域医療体制の整備」に対する満足度	目標値	26%			単位	%	
		算出式・説明	市民が生活する身近な地域で安心した医療サービスが受けられるように、市が行っている「地域医療体制の整備」の取組に対する市民の評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。	実績値	23.5	23.5	23.5	22.7		
		達成率		90%	90%	90%	87%			
	指標3	名称	がん検診の受診率(胃がん)	目標値	5%			単位	%	
		算出式・説明	がんで死亡する日本人は多く、市民が主体的に健康管理を行う上でがん検診の果たす役割は重要です。がんの早期発見を推進するため、がん検診の受診率(胃がん)を高めることを目標とします。	実績値	4.8	4.7	4.7			
		達成率		92%	90%	90%	0%			
	指標4	名称	がん検診の受診率(大腸がん)	目標値	33%			単位	%	
		算出式・説明	がんで死亡する日本人は多く、市民が主体的に健康管理を行う上でがん検診の果たす役割は重要です。がんの早期発見を推進するため、がん検診の受診率(大腸がん)を高めることを目標とします。	実績値	31.6	30.4	31.9			
		達成率		97%	93%	98%	0%			
達成率の平均値					91%	89%	91%	42%		

【市民意見】【13】

24年度		27年度	
満足度(%)	25.1%	満足度(%)	23.6%
満足度(平均ポイント)	-0.01	満足度(平均ポイント)	0.03
重要度(%)	77%	重要度(%)	77%
重要度(平均ポイント)	1.22	重要度(平均ポイント)	1.23

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input type="checkbox"/> まだ未達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている <input type="checkbox"/> 以前と同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
総合評価	今後の方針	施策内容の方向性【20】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み	
		施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化	
		施策実施方針【22】	II 成果の向上を図りつつ、コストは現状を維持する施策領域	
【一次評価後の事情変更等】				
説明【23】				
【行革本部評価】				
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
	判断理由等【24】	健康づくりの推進については、平成23年に健康都市宣言を行い、平成26年には健康都市連合へ加盟するなど、市民の健康の向上や健康応援のための取組をまち全体で進めてきました。市民意識調査結果では、前回調査と同様に重要度は高く、満足度は中位となっていることから、これまでの成果は維持しつつも、現在策定中の「(仮称)西東京市総合戦略」では「健康」応援都市の実現を戦略の基軸として位置付けることとしていることから、今後の事業展開においては、更なるコスト需要が生じた場合には、実施コストの重点化を図る必要があると判断しました。		
	施策実施方針【22】	IV 成果を維持するため、コストの重点化を行う施策領域		

【施策内の事務事業貢献度判定】

笑2-1 健康づくりの推進

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	がん検診事業の推進	健康課	対策型のがん検診のほか、喉頭がん、前立腺がん検診を含む7つの検診を実施しています。 平成26年度には、がん検診受診率の向上事業として、子宮頸がん、乳がん検診の対象者の一部に個別勧奨を行うことで、受診動向等の分析を行ったほか、申込みが不要な肺がん検診を除く、すべての検診の申込みに電子申請を導入しました。 平成26年度のがん検診受診者数は、過去5年間で最高となる一方で、がんにより死亡する方の割合は年々増加傾向にあります。
	健康教育相談事業の推進	健康課	ロコモティブシンドローム（運動器症候群）予防対策として、運動習慣のない40歳から65歳未満の方を対象とした事業を開始しました。継続的な運動習慣を身につけることを目的に、事業終了後も参加者から運動習慣に関するアンケートを実施する等、事業効果の検証にも取り組んでいます。
	こころの健康・自殺予防の推進	健康課	自殺予防対策としてのゲートキーパー研修を市民をはじめ市民を対象に実施しました。 また、子供のこころの健康づくりを目的に「一人でなやんでいるあなたへ SOSを出していいんだよ！」と題した中学校1年生向けの小冊子を作成し、市内の公立・私立の全中学校の生徒に配布しました。
	食育の推進に向けた取組	健康課	平成26年度から5か年を計画期間とする「第2次食育推進計画」を策定しました。「過程・地域と連携した食育」等の5つの重点事業を掲げ進めていきます。
	母子予防接種事業の実施	健康課	平成26年10月には、水ぼうそうワクチンが定期接種となりました。また、おたふくかぜのワクチンの一部費用助成を行っています。これは、多摩26市の自治体では、本市のみが実施しています。
	成人予防接種事業の実施	健康課	平成26年10月には、高齢者肺炎球菌ワクチンが定期接種となりました。また、定期接種該当年齢の方以外にも任意で接種できる体制を整えました。 平成26年度の接種者は4,078名でした。引き続き、高齢者の肺炎予防対策として取り組んでいきます。
	健康情報普及サイト事業の実施	健康課	健康・子育て応援システムとして、予防接種スケジュール等を自動生成する専用サイト「ワクチンマネージャー」を導入しました。平成26年度末で登録件数は、1,520件です。予防接種に関する情報のほか、子育てに関する情報や、医療機関情報の検索等の機能をもったシステムの運用を行っています。
2	保健・福祉・医療連携体制の充実	健康課	病気の治療と介護などの複合的なニーズが増加しており、保健・福祉・医療の連携による在宅療養等のサポート体制を進めていく必要があります。 平成26年度は、医師会による在宅療養推進協議会の設置に関与するとともに、地域リハビリ関係者と意見交換会等を実施しました。

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事務事業の評価(直近)【29】		26市のサービス水準との比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度【32】
	事業費	人件費			
47,494	8,794	38,700	抜本的見直し(平成19年度)	中	定期的な健康診断を受けることにより、日常生活習慣の改善や、適度な運動等を行うきっかけとなる。
210,341	190,496	19,845	抜本的見直し(平成23年度)	上	検診を受診することで、早期発見・早期治療につながるほか、検診で見つかったがん以外の疾患を治療することで、がんになることを防ぐこともできる。
48,617	2,825	45,792	改善・見直し(平成26年度)	中	正しい運動の方法や適切な食事のとり方等を学び実践できるようになる。
4,696	1,155	3,541			自分や他者のこころの問題に気付くこと、困っていることを周囲の方に発することができるようになる。
1,647	0	1,647			食に関する知識と食を選択する力を養うことで、健全な食生活を実践し、生涯にわたり健康的な心身と豊かな人間性を自ら育むようになる。
375,413	368,179	7,234	改善・見直し(平成18年度)	上	多くの疾病の流行防止、感染症による患者の発生や死亡者の大幅な減少をもたらされる。
61,212	56,394	4,818	改善・見直し(平成18年度)	上	肺炎球菌感染症は、多くの高齢者の肺炎原因となっているため、高齢社会の到来にあつては、治療だけでなく、予防を行うことが求められます。
3,755	1,285	2,470			予防接種のスケジュール管理を行うことができるとともに、医療機関の検索や母子保健等の子育て情報を専用サイトを通じて情報を得ることができま
2,515	45	2,470			地域医療の体制が整備され、身近な地域で安心して医療が受けられるようになり、安心して相談や診察が受けられるようになる。

【施策内の事務事業貢献度判定】

笑2-1 健康づくりの推進

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
3	健康づくりの推進	健康課	平成26年度は、市民の主体的な健康づくりを支援する目的で健康応援団の創設や、「西東京健康チャレンジ事業」を新たに始めています。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事務事業 の評価 (直近)【29】		26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
	事業費	人件費			
8,557	1,068	7,489	改善・見直し (平成18年度)	中	主体的に健康づくりに取り組む市民の方々が増え、また、健康づくりを通じたコミュニティができる。
764,247	630,241	134,006			